

地球は今・・・

ウィークリーエコプラン

はじめに

21世紀を前にした今、私たちの住む地球では、環境問題が大きな関心を集めています。地球温暖化や環境汚染、エネルギーの大量消費など、私たちの身近な生活の裏には、深刻な問題がありますが、その一方で、従来のエネルギー確保の困難さがさげばれてきました。実際には「地球はたいへんらしいが、自分には何もできるまい」と思っている人が多くいます。そんな人々の中には、自分自身でできることを実践している人もいます。

身近な環境問題を他人任せではなく、自分のライフスタイルをかえることによって、改善できないものもたくさんあります。

そこで、一週間の毎日ごとに環境保全に関するテーマを決め、各家庭で無理なく、エコロジー活動を実施できる方法を考えました。

東京の場合、一日の水消費量は約46.5リットル
東京7人家族4人平均に相当する（一人あたり約4.2リットル）



× 4

家庭で一番エネルギーを使うのは電気で、
一年で一家族平均3480kWh
自動販売機、約20分おきに相当する
（家庭は1日約6.8kWh、自動販売機は一日1.2kWh）
その電気をつくるのに約4.8kgの二酸化炭素を排出している



× 290

家庭や車庫からのゴミは、日本全国で年間603.0万トンで、
東京7人家族1.35トンに相当する
一人あたりでは、約40.4kgで
これは、家庭用ホウロウ3.0kg分に相当する
そのうち、2分の1は生ゴミが占めている。

日本の紙の一人あたりの消費量は、年間22.9kgで、
アメリカについて第2位です。
22.9kgの紙は、新聞用紙でおよそ2年間分に相当。
22.9kgの紙をつくるには、原木（直径10cm×長さ3m）
を8本伐採し、さらに、それを焼くことで、およそ19.0kgの
二酸化炭素を排出する。

私たちが家庭で使う水の割合



× 135



× 2年6ヵ月



このように、自然環境は年をおうごとに悪化している。

ウィークリーエコプラン



1日目は
目覚め時に感じる日

2日目は
目覚めを感じし日

3日目は
肉のエネルギーを節約する日

4日目は
水を大切に使う日

5日目は
木製品や木材を大切に使う日

6日目は
鉄製品や金属製品を大切に使う日

7日目は
土産品や地産品を大切に使う日

1日目は、日光を上手に使いましょう。
日光には紫外線が豊富に含まれています。でもそんな紫外線が肌や髪にも、目にもダメージを与えています。たとえば、UVカット効果のある日傘やサングラス、さらにはUVカット効果のある窓ガラスやカーテンなど、紫外線から身を守る工夫をしましょう。

「UVカットカーテン」は、紫外線や可視光線を遮断する効果があります。また、遮光カーテンは夏の暑い時期にエアコンの稼働を減らすのに役立ちます。また、遮光カーテンは夏の暑い時期にエアコンの稼働を減らすのに役立ちます。



ソーラー
カーテン



暖かい日の日に日光を上手に使い、涼しい日の日に日光を上手に遮断して電気を節約しましょう。

快適な生活を送りましょう



Moon light



2日目は、早めに電気（照明）を消して片明日を楽しみましょう。
昔から月は、一番身近な星として、そして神秘的なものとして人々に親しまれてきました。しかし現在、私達が求めた便利なゆえに、月をみられる機会が減ってしまったような気がします。忙しい毎日を送り自分の心を何処かへ置き忘れてきてしまったあなたでも、この日には自分の心を取り戻す術にでもしましょう。

百万ドルの星空をあなたに――



エコカード

3日目は、火力発電による電気の省エネをしましょう。
最新の電気を供給する火力発電はCO2を排出し、地球温暖化の原因の一つです。火力発電はCO2を排出し、地球温暖化の原因の一つです。

「エコカード」は、火力発電の効率を上げるためのものです。火力発電に使用している燃料の量を減らすことで、CO2の排出量を減らすことができます。また、エコカードは火力発電の効率を上げるためのものです。



最新の火力発電にエコカードの効果が期待されます。



ウィークリーエコプラン



水曜日には、水の節約をしましょう。

毎日の生活が持続可能な社会の実現に、必要不可欠な役割を、私たちの手も果たしているのです。環境にやさしく、しかも便利なもの、そんなものがあつたら、そうして必要なのが「ベジタブルソーサー」。

「ベジタブルソーサー」は、まさに野菜で作った食品。使い終わった後は、生ゴミも減り、それに現代人に不足しがちな野菜も摂取させることができます。

「ベジタブルソーサー」



素材によっていろいろな種類の野菜が楽しめます。ハイエネのように出荷しているので、よく作った食品で、おいしく食べられます。

ベジタブルソーサー



水曜日には、素材資源を大切にしましょう。

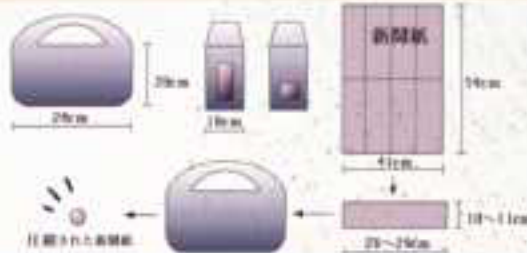
高圧圧縮機を使った製法は、従来の圧縮機よりも省スペースでできるため、環境に優しいシステムが実現でき、お掃除も楽々です。しかも、高圧圧縮機は、従来の圧縮機よりも省スペースでできるため、環境に優しいシステムが実現でき、お掃除も楽々です。

「エコシュレッダー」は、高圧圧縮機を使った製法は、従来の圧縮機よりも省スペースでできるため、環境に優しいシステムが実現でき、お掃除も楽々です。

「エコシュレッダー」は、高圧圧縮機を使った製法は、従来の圧縮機よりも省スペースでできるため、環境に優しいシステムが実現でき、お掃除も楽々です。

「エコシュレッダー」は、高圧圧縮機を使った製法は、従来の圧縮機よりも省スペースでできるため、環境に優しいシステムが実現でき、お掃除も楽々です。

圧縮シュレッダー



金曜日には、金属のリサイクルをしましょう。

今や自動車の排気管によって排出される金属の量は、昔に比べると増えてきています。でもそのぶん、もっと上手に利用してあげると、金属のリサイクルもあつたら、「エコチェンジャー」。

「エコチェンジャー」は、ステンレス鋼のボディに、アルミ合金のコンテナを仕込んであります。高圧で圧縮した金属をコンテナに、またはタームコンテナに入れて、専用の設備に入れます。そうするとアルミ、ステンレス鋼に、高圧コンテナになって出てきます。みんなで作って、金属のリサイクルをしましょう。

エコチェンジャー



土曜日には、一週間を振り返ってみましょう。

毎週目に見えないから気づかないエネルギーの消費活動。目に見える部分だけだと気づかずに、もっと上手に資源を使えるようにしたい。そして、そのための「エコメーター」。

これは土曜日、毎週の生活と比べてその日にどれだけエネルギーを使っているか、それを測るものです。また、お金に換算するとどれくらい節約になるのか、どれくらい節約されたのかも表示されます。

エコメーター



ウィークリーエコプラン



この日は、ソーラーカーテンで1週間最大電気を利用して、シャワーを流しお風呂を流す。
掃除機からのエネ消費に備えて、心も身体もリフレッシュ。

これだけで、2週間節約のため、それがどれほどのお金よ、想像が膨らむのが楽しみになって『エネルギー』により、プリントされるため節約したことが、より身近に感じられ、エコのイメージに積極的に取り組めます。



自動車通勤の多いなどで購入しつづける高容量、今後ますます増え、空き容量の確保や、エネルギーの消費を止まらずに乗り続ける。しかし、『エコアクション』があることにより、空き容量を減らす。レジャーで楽しむサイクリングもつなげるというエコアクションがあります。これだけで、私達の暮らしの自然も取り戻されるのではないのでしょうか。もちろん、サイクリングも楽しくなる理由にしたいものがあります。



この日は、子供を遊ばせておかないで『月』にスポットを置いて過ごす日です。
『月』の楽しみ方を知っている人は、心豊かな人達ばかりです。心の豊かさを身につける現代の人々にはお薦めを兼ねた楽しみ方となります。

Weeklyエコによるメリット



この計画により、今まで無視されていたものの節約になり、もの大切さを認識されます。また、ゴミの削減にもつながり、地球環境を考えた日々が送れるといえます。

この計画により、今まで無視されていたものの節約になり、もの大切さを認識されます。また、ゴミの削減にもつながり、地球環境を考えた日々が送れるといえます。



電球は1球で3400lmを使い、その電圧を作る際に、400gの二酸化炭素を出しています。電球を10時間点灯すると二酸化炭素を1kg削減し、冷蔵庫で冷めただけでも電気消費量は約1kWh、1時間消費すると、二酸化炭素を120g削減できます。また、テレビ（20型）を1時間消費すると、1kg削減できます。

「エコカード」を使えば、電気代が自動的に下がるようになります。約10%削減が実現します。二酸化炭素を10%削減したことになります。1年では、150kgの（100%削減）二酸化炭素の削減となります。



東京全体の1日の水消費量は、約40億リットル、東京ドーム4杯分に相当します。その中で全体の約1%の水消費量は、全体の25%を占めています。それが、『エコアクション』の啓蒙により、長寿が長寿であるため、長寿を長寿の水消費の削減につながります。

1. 水消費の削減につながります。

まとめ

国内社会では、地球環境破壊に直面していると言われていますが、私達にはその問題がどれほど重要で、どれほど深刻なものなのか実感がおきませんでした。

しかし、この「Weeklyエコプラン」に取り組んで、電気、水の無駄使いや、ゴミの多さに、対策が打たれている現状を改めて知りました。これらの問題に直面している中、私達の環境に対する考えを改めていき、種別やアイテムなどのやり方で、電気の無駄使いから生まれる二酸化炭素の大量発生、生ゴミの増加といふ問題を解決するのは、21世紀に生きる私達の使命です。

この「Weeklyエコプラン」を私達1人1人が実行すれば、自然破壊の汚染や破壊という問題にも終止符が打たれるのではないのでしょうか。